

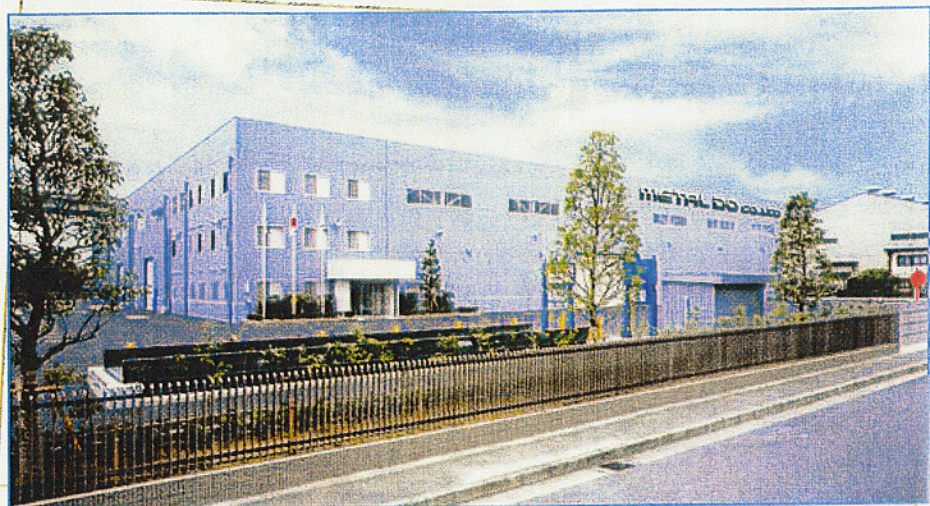
リサイクルビジネス 成功の構図

棚町裕次 Profile

日刊市況通信社記者 IRASG(www.irasg.com)
企画・広報。非鉄、レアメタルの市場動向および付随したリサイクル市場の現場を日々取材。

vol.03

国内最大級のレアメタル専門リサイクラー



メタルドゥ

大阪市の此花区と兵庫県
尼崎市に物流センターを
もち、今現在神戸市のポ
ートアイランドに新ヤード
も建設している。

メタルドゥ（本社：大阪府大阪市西区）は30年前からレアメタル専門のリサイクルを手がけている商社である。年間取り扱い数量2万2千tは国内最大級。社員総数70名でリサイクルビジネスを展開しており、平成20年度の売上高はメタル価格の高騰も追い風となり過去最高の300億円に達した。

レアメタル専門で30年間やってきた実績と彼らの営業能力の高さ、情報収集能力の高さが信頼を育み、日本全国に集荷網を張り巡らすことに成功した。レアメタルと一口にいても多種多様なレアメタル含有スクラップがある。メタルドゥがビジネス対象にしているものは全てのレアメタルだが、扱い数量でいくとニッケル、コバルト、チタン、タングステン、モリブデン、タンタルなどの各種スクラップが中心になっている。また、スクラップだけでなく、ニッケル、コバルト、クロム、マンガンについては地金も扱っている。

メタルドゥのリサイクルビジネスの特徴として、レアメタル含有二次電池のリサイクル量が多いことが挙げられる。例えばリチウムイオン二次電池、ニッケル水素（MH）電池がその代表格なのだが、いずれも扱いの歴史は長く、かつグローバルなリサイクルを展開している。リチウムイオン電池からは含有するコバルトを、MH電池からはニッケルを再利用しているのだが、メタルドゥはあくまで流通商社であるため、実際の「メタル回収」はコバルトメーカーなどが行って

いる。同社の場合、集荷したリチウムイオン電池をパーゼル法をクリアしたうえで、カナダのエクストラータ・ファルコンブリッジ社に輸出。ファルコン社の高い技術でメタルコバルトに生まれ変わっている。他に、中国の酸化コバルトメーカーへの販売、国内では磁石鋼の原料としてコバルト源の供給を行っている。MH電池は他のニッケル系原料と同じように国内外の特殊鋼メーカーに販売している。

世界的にみると、日本のレアメタルリサイクル市場は規模、技術、需要面でやや劣る部分がある。レアメタルリサイクル材の需要が多い欧米では大規模かつ高品質のリサイクル材を供給している国際的なビッグディーラーが多いのだが、日本ではまだ数少ない。そんな中、アイテムの多さ、数量、販売チャンネルの多様さから「レアメタルスクラップのデパート」とも称されるメタルドゥは最も世界レベルに近い日本のレアメタルリサイクラーといえよう。大阪市の此花区と兵庫県尼崎市に物流センターをもち、今現在神戸市のポートアイランドに新ヤードも建設している。さらに扱い数量を増やし、品質・数量・価値の安定化と品種を増加させる事により、メーカー的機能を持つ世界的なリサイクラーのポジションを確立するという具体的な目標がメタルドゥのモチベーションを高めている。